

津別町開町100年記念事業
津別町民音楽祭を開催

津別町開町100年記念事業『津別町民音楽祭』が、1月26日、中央公民館で開催されました。

津別町郷土芸能・山鳴太鼓保存会、津別大正琴あじさい会、琴伝流大正琴瑠璃の会、エスポワール、三田バンド、音楽愛好会きずな、RECつべつなどの地元で活動する音楽愛好団体や、津別をベースに音楽を発信するユニット・ホラネロなど、多彩な出演者がそれぞれの持ち味を發揮して聴衆を魅了。また、スペシャルゲストとしてダブルサイズベッドルームや安田大サーカス・クロちゃんなどのお笑いタレントも出演し、大いに会場を沸かせました。



▲多くの町民が来場し、音楽の魅力に触れました

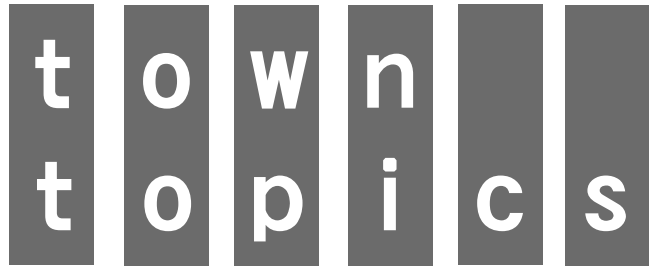
全国中学校スケート大会で健闘
小林空くんが結果報告

第40回全国中学校スケート大会に出場した津別中学校1年の小林空くんが、2月14日、佐藤町長らに結果報告を行いました。小林くんは、2月1日から長野市のエムウエーブ（1998年長野冬季五輪の会場）で開催された同大会において、スピードスケート1500m競技に出場。決勝進出を果たし、23位入賞と健闘しました。

全国から集まった強豪選手を相手に、最初は少し緊張したそうですが、コーチの指示通りの積極的な滑りで、日ごろの練習成果を發揮できたなど、大会の感想を語ってくれました。



▲笑顔で結果報告する小林くん



まちのわだい

長く自然保護監視員として従事
原紀一さんに北海道知事感謝状

共和在任の原紀一さんが北海道知事感謝状（自然保護関係功労者）を受賞し、2月19日、林業研修会館において伝達式が行われました。

原さんは平成20年よりチミケツプキャンプ場管理人としてチミケツプ湖周辺の環境整備に従事し、同年より本年度まで、道の自然保護監視員として同湖畔に生息する野鳥等動植物の生息域管理、並びにキャンプ場利用者等来訪者への自然保護思想の啓発に努めました。

多目的ホールでは、アイスキャンドルを背景にキャンドルナイトコンサートが開かれ、町在住の音楽ユニット・ホラネロなどの生演奏が来場者を楽しませました。



▶左から佐藤町長 原さん、オホーツク総合振興局長 玉川部長

海上保安官募集
～海の安全と治安を守る それが使命～

網走海上保安署では、2020年（令和2年）10月期入学の海上保安学校学生を募集します。

入学・採用には年齢や健康状態等の条件があります。

詳細については、第1管区海上保安本部のホームページでご確認ください。

〈ホームページ〉
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/saiyou.htm>

《国税専門官募集》

札幌国税局では、国税局や税務署において、税のスペシャリストとして活躍する国税専門官を募集しています。2020年度の採用試験の概要は、次のとおりです。

受験資格

- ①平成2年4月2日から平成11年4月1日生まれの者
- ②平成11年4月2日以降生まれの者で大学を卒業する見込みの者など別に定める者

申込受付期間 申込みはインターネットにより行ってください。

3月27日（金）午前9時～4月8日（水）[受信有効]

〈申込専用アドレス〉 <http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

第1次試験【基礎能力試験、専門試験（多肢選択式及び記述式）】 6月7日（日）

第1次試験合格者発表日 6月30日（火）午前9時

第2次試験【人物試験及び身体検査】

7月8日（水）～7月17日（金）のうち指定する日

最終合格者発表日 8月18日（火）

問い合わせ先

札幌国税局人事第2課採用担当 ☎011-231-5011（内線2315）

網走税務署総務課 ☎0152-43-2181（内線22）

地域おこし協力隊の思い出

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。

76 津別町の100年



須藤由美乃 Neo Folkのクラフトマンとして相生で活動しています。札幌出身、船橋市生まれ。

昨年10月に、町の100年の歴史をまとめた動画を制作しました。さんさん館や道の駅などでご覧になった方もいらっしゃると思います。役場の2階に眠っていた古い写真を掘り起こしたことから始まり、シゲちゃん

と、おじいちゃんの世代が開拓の世代だと言います。なんだかそれほど遠くない昔のように思います。

のディレクションのもと、道東テレビの立川さんが映像編集、そしてホラネ口さんが新たに曲を作り、10分ほどの動画が完成しました。

私は今、100年前に開拓に入った人たちが想像もしないような生活を送っています。デザインというものが仕事になるなんて考えられなかったことでしょう。先人たちが命懸けで開拓した津別町には、今や、ビデオカメラがいて、音楽家が移り住み、開町100年という節目に自分たちの手で、一つの作品を生み出すことができました。

1904年、鬱蒼とした原始林だった津別への入植が始まりました。当時の住居や服装で、どのように寒さに耐え、開墾を進めることができただのか。写真を見るほど、信じられませんが、相生の方のお話を聞く

と、おじいちゃんの世代が開拓の世代だと言います。なんだかそれほど遠くない昔のように思います。